

単元名	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の観察	身の回りの生物を探る中で、それらの様子に着目して、それらの様子を比較しながら、生物の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○身の回りの生物のようすを、虫眼鏡などを正しく扱いながら調べ、分かりやすく記録している。 ○生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。	○身の回りの生物に進んで関わり、他者と関わりながら生物を見付けようとしている。 ○身の回りの生物について、そのようすや周辺の環境に着目して比較し、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現している。	○身の回りの生物に進んで関わり、他者と関わりながら生物を見付けようとしている。
植物の育ち方 ①たねまき	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○種のまき方を知り、正しく種をまいている。 ○植物の栽培をしながら、虫眼鏡や紙テープなどを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録している。	○植物どうしを比較して、差異点や共通点をもとに、植物はどのように育つのか考え、表現している。	○植物の育ちについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。
こん虫の育ち方	昆虫の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の昆虫を比較しながら昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○チョウの卵や幼虫を飼育しながら、虫眼鏡などを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録している。○チョウの育ち方には一定の順序があることを理解している。○チョウの成虫の体のつくりについて、虫眼鏡などを正しく扱いながら調べ、わかりやすく記録している。 ○チョウの成虫の体は、頭、胸および腹からできていることを理解している。	○チョウの卵や幼虫がどのように育つのか、観察結果をもとに考え、表現している。（発言・記録分析） ○チョウが卵から成虫までどのように育つのか、観察結果をもとに考え、表現している。	○チョウについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○チョウの育ちや成虫の体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
植物の育ち方 ②葉がふえたころ	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しよ	○植物の育ちについて、虫眼鏡や紙テープなどを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録している。 ○植物の体は、根、茎および葉からできていることを理解している。	○植物の体のつくりについて、複数の種類を比較して、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現している。	○植物の育ちについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。

	うとする態度を養うことができるようにする。			
ゴムと風の力のはたらき	ゴムと風の力と物の動く様子に着目して、それらを比較しながら、ゴムの力の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○風の力のはたらきについて、送風機などを正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○風の力は、ものを動かすことができること、また、風の力の大きさを変えると、ものが動くようすも変わることを理解している。 ○ゴムの力のはたらきについて、器具を正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○ゴムの力は、ものを動かすことができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、ものが動くようすも変わることを理解している。	○風の強さと車が動く距離の関係について、問題を見いだしている。 ○風の力のはたらきについて、実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ○ゴムの力のはたらきについて、実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。	○風やゴムの力のはたらかせたときの現象に進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○風とゴムの力のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
音のふしぎ	音を出したときの震え方に着目して、音の大きさを変えたときの現象の違いを比較しながら、音の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	ものから音が出るとき、ものは震えていること、また、音の大きさが変わるときものの震え方が変わることを理解している。 電話を正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録している。 ものから音が伝わる時、ものは震えていることを理解している。	○音が出ているときのものようすについて問題を見だし、自分の考えを表現している。 ○音が出ているときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。	○音の性質について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
植物の育ち方 ③花	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○植物の育ちや花のようすについて、虫眼鏡などを正しく扱い、その成長をわかりやすく記録している。		○植物の育ちや花のようすについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。
動物のすみか	身の回りの動物を探す中で、これらの様子や周辺の環境に着目して、それらを比較しながら、生物と環境との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主	○生物は、周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 ○昆虫の成虫の体は頭、胸および腹からできていることを理解している。 ○昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解している。	○身の回りの昆虫と環境との関わりについて、複数の昆虫を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ○昆虫の育ち方について、複数の昆虫を比較して考察し、自分の考えを表現している。	○身の回りの昆虫について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○身の回りの昆虫について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

	に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。			
植物の育ち方 ④花がさいた後	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○植物の育ち方には一定の順序があることを理解している。	○植物の育ち方について、複数の植物を比較して、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現している。	○植物の育ちや実のようすについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
地面のようすと太陽	太陽と地面の様子との関係について、日なたと日陰の地面の様子に着目して、比較しながら調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○日陰は太陽の光を遮るとできることを理解している。 ○影と太陽の位置について、方位磁針や遮光板などを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○日陰の位置は、太陽の位置の変化によって変わることを理解している。 ○温度計を正しく扱って、日なたと日陰の地面の温度を調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では暖かさや湿り気に違いがあることを理解している。	○時刻による日陰の位置の変化を比較して問題を見だし、自分の考えを表現している。 ○日なたと日陰の地面のようすを比較して問題を見だし、自分の考えを表現している。 ○日なたと日陰の地面について、実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。	○太陽と地面のようすについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○太陽と地面のようすについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。（
太陽の光	日光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときの現象の違いを比較しながら、光の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○日光は直進し、反射させることができることを理解している。○的の明るさや温度について、鏡や温度計などを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○日光は集めることができること、ものに日光を当てるとものの明るさや暖かさが変わることを理解している ○日光は集めることができること、ものに日光を当てるとものの明るさや暖かさが変わることを理解している。	○日光を重ねたときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ○日光を集めたときについて、既習事項をもとに予想を発想し、自分の考えを表現している。	○光の性質について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

電気の通り道	乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら、電気の回路について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○電気の回路について、乾電池や豆電球を正しく扱いながら調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。 ○電気を通すものと通さないものがあることを理解している。	○明かりがつくときの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ○電気を通すものについて予想し、自分の考えを表現している。 ○電気を通すものの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している	○電気の回路について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
じしゃくのふしぎ	磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら、磁石の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○磁石につくものについて、磁石などを正しく扱いながら調べ、その結果をわかりやすく記録している。 ○磁石に引きつけられるものと引きつけられないものがあることを理解している。 ○磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 ○磁石に近づけると磁石になるものがあることを理解している。	○磁石につくものを、既習事項をもとに予想を発想し、自分の考えを表現している。 ○磁石につくものの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ○磁石についた鉄の実験で得られた結果を考察し、自分の考えを表現している。	○磁石の性質について進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
ものの重さ	物の形や体積に着目して、重さを比較しながら、物の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○自動上皿はかりを正しく扱って調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○ものは、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。	○ものの形を変えたときの重さについて問題を見だし、自分の考えを表現している。 ○ものの体積と重さの実験で得られた結果を比較して考察し、自分の考えを表現している。 ○ものは、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。	○ものと重さについて進んで関わり、他者と関わりながら調べようとしている。 ○物と重さについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
おもちゃショーを開こう！	ゴムと風の力、音のふしぎ、電気の通り道、じしゃくのふしぎについて、学んだことを、ものづくりに生かすことができるようにする。	○器具を正しく扱いながらおもちゃを製作している。	○これまで学習したことを意識して、おもちゃの計画を立てている。	○これまで学習したことを生かして、他者と関わりながらおもちゃを製作しようとしている。

単元名	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
季節と生物① 春の始まり	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○温度計を安全に正しく使い、気温や水温を調べている。 ○植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。	○春の生き物のようすについて、予想や仮説を発想し、表現している。 ○春の生き物のようすと季節の変化を関係づけて考察し、表現している。	○春の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、季節による違いを調べようとしている。 ○植物の成長に進んでかかわり、他者とかかわりながら、植物を育てていこうとしている。
天気と気温	気温に着目して、それらと天気の様子とを関係付けて、天気の様子を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○温度計を正しく扱いながら、天気や1日の気温の変化のしかたを調べ、測定した気温などの結果をわかりやすくまとめている。 ○天気によって、1日の気温の変化のしかたに違いがあることを理解している。	○1日の気温の変化と天気の様子について予想や仮説を発想し、表現している。 ○1日の気温の変化と天気の様子について予想や仮説を発想し、表現している。	○天気の様子や1日の気温の変化に進んでかかわり、他者とかかわりながら、天気や気温を調べようとしている。 ○天気と1日の気温の変化について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
電池のはたらき	電流の大きさや向き、乾電池につないだ物の様子に着目して、それらを関係付けて、電流の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○簡易検流計を正しく使い、回路を流れる電流の向きと、モーターの回る向きを関係づけて調べている。 ○乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、モーターの回り方が変わることを理解している。	○回路を流れる電流の向きとモーターの回る向きについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○乾電池2個のつなぎ方やモーターの回り方について、実験の結果から考察し、表現している。	○乾電池とモーターを使ったおもちゃを動かすことに進んでかかわり、他者とかかわりながら、乾電池のはたらきを調べようとしている。 ○電気のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

<p>とじこめた空気や水</p>	<p>体積や押し返す力の変化に着目して、それらと圧す力とを関係付けて、空気と水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○空気を閉じ込めた器具を安全に正しく使って、閉じ込めた空気の性質を調べている。 ○閉じ込めた水を押し縮めることができるかについて、実験の結果から考察し、表現している。</p>	<p>○閉じ込めた空気を圧したときについて、予想や仮説を発想し、表現している。 ○閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解している。 ○閉じ込めた水を圧したときについて、結果をわかりやすく記録している。 ○閉じ込めた水は、空気と違って押し縮められないことを理解している。</p>	<p>○閉じ込めた空気を使った活動に進んでかかわり、他者とかかわりながら、閉じ込めた空気の性質を調べようとしている。 ○閉じ込めた空気や水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
<p>季節と生物③ 夏 夏の終わり</p>	<p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○夏になると、動物が活発に活動し、植物がよく成長することを理解している。</p>		<p>○夏の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、春の生き物のようすとの違いを調べようとしている。 ○夏の生き物について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
<p>星や月① 星の明るさや色</p>	<p>星の明るさや色に着目して、それらを比較しながら、星の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○方位磁針や星座早見などを正しく使って、星や星座を観察し、星によって明るさや色に違いがあることを理解している。</p>		<p>○夏の夜空に輝く星に進んでかかわり、他者とかかわりながら、観察しようとしている。</p>

雨水のゆくえ	水の流れやしみ込み方、行方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさ、水の状態変化とを関係付けて、雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○水は高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 ○粒の大きさと水の浸みこみ方の違いを調べる実験を、条件制御しながら行い、結果をわかりやすく記録している。 ○水の浸みこみ方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。	○低い場所に流れた水のゆくえについて、土のようすと関連づけながら、根拠のある予想や仮説を発想し、表現している。	○地面を流れる水のゆくえに進んでかかわり、他者とかかわりながら、そのようすと調べようとしている。 ○水が地面を流れたり、浸みこんだりするしくみと自然災害や土地利用との関係について調べようとしている。
星や月② 月と星の位置 や変化	月や星の位置の変化に着目して、それらと関係付けて、月や星の特徴を調べる活動を通してそれらについて理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○方位磁針を正しく使って月の位置を調べ、月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 ○星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。	○月も太陽と同じように、時刻とともに動く予想や仮説を発想し、考えを表現している。 ○星の位置の変化を観察の結果から考察し、表現している。	○月の動き方について進んでかかわり、他者とかかわりながら、月の動きを調べようとしている。 ○月や星の動きについて、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
わたしたちの 体と運動	骨や筋肉のつくりと働きに着目して、それらと関係付けて、人や他の動物の体のつくりと運動との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○自分の体を触ったり、骨の模型や映像などの資料を活用したりして、体を曲げられるところを調べている。 ○ヒトの体には骨と筋肉があり、ヒトが体を動かすことができるのは、骨や筋肉のはたらきによることを理解している。 ○ほかの動物の体のつくりや、体を動かすしくみについて、資料を活用して調べている。	○運動しているときのヒトの体の動きから、腕の中の骨がどのようになっているか予想や仮説を発想し、表現している。 ○ほかの動物の体のつくりや、体を動かすしくみについて、ヒトと関係づけて考察し、自分の考えを表現している。	○ヒトの体のつくりに進んでかかわり、他者とかかわりながら、運動とどのように関係があるかを調べようとしている。 ○ヒトやほかの動物の体のつくりと運動について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
季節と生物⑤ 秋	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○植物の成長のようすと調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○秋になると、動物の動きは鈍くなり、植物は成長が止まったり、実が大きくなったりすることを理解している。		○秋の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、季節による違いを調べようとしている。 ○秋の生き物について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

<p>ものの温度と体積</p>	<p>体積の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○空気はあたためたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している ○水はあたためたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。 ○加熱器具などを安全に正しく使って、金属をあたためたり冷やしたりしたときの体積の変化を調べている。 ○金属は、あたためたり冷やしたりすると、その体積が変わるが、その変化は空気や水より小さいことを理解している。</p>	<p>○閉じ込めた空気をあたためたときについて、予想や仮説を発想し、表現している。 ○空気の温度と体積について、実験の結果から考察し、表現している。 ○温度による水の体積変化について、実験の結果から考察し、表現している。 ○温度による金属の体積変化について、実験の結果から考察し、表現している。</p>	<p>○容器に閉じ込めた空気をあたためる活動に進んでかかわり、他者とかかわりながら、空気の性質を調べようとしている。 ○温度によるものの体積変化について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
<p>星や月③ 冬の星</p>	<p>冬の星に着目して、それらとを関係付けて、冬の星の特徴を調べる活動を通してそれらについて理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○冬の夜空にも、明るさや色の違う星があり、時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。</p>		<p>○冬の夜空に輝く星に進んでかかわり、他者とかかわりながら、観察しようとしている。</p>
<p>季節と生物⑥ 冬</p>	<p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらとを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○植物のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○冬になると、動物は見られなくなり、植物はたねを残して枯れたり、枝に芽をつけて冬を越したりすることを理解している。</p>		<p>○冬の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、季節による違いを調べようとしている。 ○冬の生き物について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
<p>もののあたたまり方</p>	<p>熱の伝わり方に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○加熱器具などを安全に正しく使って金属のあたたまり方を調べている。 ○金属は熱せられた部分から順にあたたまっていくことを理解している。 ○水のあたたまり方を調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○水はあたためられた部分が移動して全体があたたまることを理解している。 ○空気は、あたためられた部分が移動</p>	<p>○金属の一部を熱すると、どのようにあたたまっていくのかについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○水のあたたまり方について、実験の結果から考察し、表現している。 ○空気のあたたまり方について、実験の結果から考察し、表現している。</p>	<p>○フライパンを熱したときのようすに進んでかかわり、他者とかかわりながら、金属のあたたまり方を調べようとしている。 ○もののあたたまり方について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

		して、全体があたたまることを理解している。		
すがたを変える水	状態の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	<p>○加熱器具などを安全に正しく使って、熱したときの水のようすを調べ、わかりやすく記録している。</p> <p>○水を冷やし続けたときの温度やようすをわかりやすく記録している。</p> <p>○水が温度によって水蒸気や氷に変わることや、水が氷になると体積が増えることを理解している。</p>	<p>○水を熱したときに出る泡の正体について、実験の結果から考察し、表現している。</p> <p>○水を冷やしたときの変化について実験の結果から考察し、表現している。</p>	<p>○水が氷になったり、水を熱すると湯気や泡が出たりする現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら、温度による水の状態変化を調べようとしている。</p> <p>○温度による水の状態変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
季節と生物⑦ 春のおとずれ	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	<p>○1年間の観察記録を生き物毎に整理し、季節と生き物のようすの関係について、わかりやすくまとめている。</p> <p>○動物の活動や植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p>		<p>○季節と生き物のようすに進んでかかわり、他者とかかわりながら、特徴を調べようとしている。</p> <p>○季節と生き物のようすについて、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
天気と情報① 天気の変化	雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○空を観察しながら、1日の雲の量や動きなどを調べ、結果を適切に記録している。 ○天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 ○天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 ○雨や雪などの天気の変化による災害や備え、もたらされる多くの恵みについて、資料を目的に応じて選択して調べている。	○天気の変化と雲の量や動きなどの関係について、予想や仮説をもとに、自らの考えを表現している。 ○収集した気象情報から考察して、天気の変化の規則性を見だし、表現している。	○雲と天気の変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、雲のようすを調べようとしている。 ○天気の変化は、わたしたちの生活に不可欠であることから、よりよいくらしのあり方について考えようとしている。 ○雲と天気の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
生命のつながり① 植物の発芽と成長	発芽と成長の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の発芽、成長とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○物の発芽に水が必要かどうかを調べ、実験の方法や結果を適切に記録している。 ○植物の発芽には、水・温度・空気が関係していることを理解している。 ○ヨウ素液などを目的に応じて用意し、安全に正しく使って観察し、記録している。 ○植物は、種子の中の養分をもとにして発芽することを理解している。 ○植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。	○植物の発芽について予想や仮説をもち、条件に着目しながら解決の方法を発想し、表現している。 ○植物の発芽について、実験結果をもとに条件と関係づけて考察し、表現している。 ○植物の成長について予想や仮説をもち、条件に着目しながら実験を計画し、表現している。 ○植物の成長について、実験結果をもとに条件と関係づけて考察し、表現している。	○植物の発芽や成長に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、それらの変化の条件を調べようとしている。 ○植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
生命のつながり② メダカのたんじょう	魚を育てる中で、卵の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○メダカを飼育して、雌雄の体の特徴などを観察し、結果を適切に記録している。 ○解剖顕微鏡などを目的に応じて用意し、安全に正しく使って、メダカの受精卵のようすを観察し、結果を適切に記録している。 ○メダカには雌雄があり、受精卵は日がたつにつれて中のようすが変化して子メダカが誕生することを理解している。	○メダカの発生や成長について予想や仮説を発想し、観察を計画し、表現している。 ○メダカの発生や成長と、その変化にかかわる時間を関係づけて考察し、表現している。	○メダカの卵の成長や雌雄の特徴について、進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら、自ら調べようとしている。 ○メダカの誕生について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
天気と情報② 台風と防災	雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする	○台風の動きと天気の変化についての資料などを目的に応じて選択し、テレビや新聞、インターネットなどを活用して情報を収集している。 ○台風による災害には、気象情報などを活用した日ごろから備えが大切であることを理解している。	○台風の動きと天気の変化を関係づけて考察し、自分の考えを表現している。	○台風の動きと天気の変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、生活経験を想起したり、調べようとしたりしている。 ○台風とわたしたちのよりよいく

	る態度を養うことができるようにする。			らしのあり方について考えようとしている。
生命のつながり③ 植物の実や種子の でき方	結実の様子に着目して、それに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の結実とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○顕微鏡などの器具を目的に応じて用意し、正しく扱いながら、花のつくりや花粉を観察している。 ○植物の結実の条件について調べ、その過程や結果を適切に記録している。 ○受粉するとめしべのものが実になり、実の中に種子ができることを理解している。	○めばなとおぼなの花のつくりの違いについて問題を見だし、表現している。 ○めしべやおしべの観察結果を考察する中で、おしべの花粉がめしべに運ばれることを表現している。 ○植物の結実について予想や仮説をもち、解決の方法を発想し、表現している。 ○植物の結実について、実験結果をもとに受粉と結実を関係づけて考察し、自分の考えを表現している。	○植物の花が実へと変化し、種子ができることに進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○植物の受粉と結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
流れる水のはたらき 土地の変化	流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○目的に応じて器具を用意し、正しく扱いながら、流れる水のはたらきによる地面の変化を調べている。 ○流れる水には、地面を侵食したり、土などを運搬したり堆積させたりするはたらきがあることを理解している。 ○流れる水の量の変化による地面の変化の違いを調べ、得られた結果を適切に記録している。 ○流れる水の量が変化すると、侵食や運搬のはたらきが変化することを理解している。 ○野外観察を計画的かつ安全に行ったり、映像資料などを活用して調べたりしている ○川の上流と下流によって、川幅や水の流れの速さ、川原の石の形や大きさなどに違いがあることを理解している。 ○流れる水の速さや量が変わることで起こる災害があることや、人々やその暮らしを災害から守る取り組みについて理解している。	○流れる水のはたらきについて、予想や仮説をもち、条件に着目しながら解決の方法を発想し、表現している。 ○実際の川での流れる水のはたらきと土地の変化について、関係づけて考察し、表現している。	○流れる水のはたらきに進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、調べようとしている。 ○流れる水のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
もののとけ方	物が水に溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら、物の溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を	○ものが水に溶けても、水とものを合わせた重さは変わらないことを理解している ○ものの溶け方の違いを調べる工夫をし、電子てんびんやメスシリンダーを目的に応じて用意し、安全に正しく操作して実験をしている。	○ものの溶け方や溶けたもののゆくえんについて、発想した予想や仮説をもとに、条件に着目して解決の方法を発想し、表現している。 ○ものが水に溶ける量について、発想した予想や仮説をもとに、条件に着	○ものを水に溶かすことに進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、ものの溶け方の規則性を調べようとしている。

	<p>基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○ものが水に溶ける量には、限度があることを理解している。 ○水の量を増やすと、水に溶けるものの量も増えることを理解している。 ○ものが水に溶ける量は、水の温度、溶けるものによって違いがあることを理解している。 ○溶けているものを取り出す方法を工夫し、ろ過器具などを目的に応じて用意し、安全に正しく使って実験をしている。 ○水溶液の性質を利用して、水に溶けているものを取り出すことができることを理解している。</p>	<p>目して解決の方法を発想し、表現している。 ○ものが溶ける量を水の温度と関係づけて考察し、表現している</p>	<p>○ものが水に溶けるときの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
<p>ふりこの性質</p>	<p>振り子が1往復する時間に着目して、おもりの重さや振り子の長さなどの条件を制御しながら、振り子の運動の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○振り子の運動の規則性を調べる工夫をし、それぞれの実験器具を目的に応じて用意し、安全に正しく操作し、計画的に実験している。 ○振り子の運動の規則性を調べ、その過程を適切に記録し、結果を適切に計算して記録している。 ○振り子が1往復する時間は、おもりの重さや振幅に関係なく、振り子の長さによって変わること理解している。</p>	<p>○振り子の運動の変化とその要因について予想や仮説をもち、条件に着目して解決の方法を発想し、表現している。 ○振り子の運動の変化とその要因とを関係づけて考察し、表現している。</p>	<p>○振り子の運動に進んでかかわり、粘り強く、他者とかがわりながら、振り子の運動の規則性を調べようとしている。 ○振り子の運動の規則性を利用したものづくりをしたり、振り子の運動の規則性について学んだことを生活に生かそうとしたりしている。</p>
<p>電磁石の性質</p>	<p>電流の大きさや向き、コイルの巻数などに着目して、これらの条件を制御しながら、電流がつくる磁力を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○電磁石を正しくつくり、電流を流してそのはたらきを調べ、気づきや疑問を適切に記録している。 ○電流の流れているコイルは、鉄心を磁化するはたらきがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極が変わることを理解している。 ○電流計などを目的に応じて用意し、安全に正しく使って、電磁石の強さの変化を計画的に調べ、その過程や結果を適切に記録している。 ○電磁石の強さは、電流の大きさやコイルの巻数によって変わること理解している。</p>	<p>○電磁石のはたらきについて、永久磁石と比べることで問題を見だし、表現している。 ○電磁石に電流を流したときの極の変化とその要因について予想や仮説をもち、条件に着目して解決の方法を発想し、表現している。 ○電磁石の極の変化と電流の向きを関係づけて考察し、表現している。 ○電磁石に電流を流したときの電磁石の強さとその要因について予想や仮説をもち、条件に着目して解決の方法を発想し、表現している。 ○実験の結果から、電磁石の強さと電流の大きさやコイルの巻数を関係づけて考察し、表現している。</p>	<p>○電磁石の導線に電流を流したときに起こる現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかがわりながら電磁石のはたらきを調べようとしている。 ○電磁石の性質やはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

<p>生命のつながり④ 人のたんじょう</p>	<p>人の発生についての資料を活用する中で、胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○ヒトが母体内で成長していくようすを目的に応じて図鑑やインターネット、模型、養護教諭や医師へのインタビューなどの方法で調べている。 ○ヒトが母体内で成長していくようすについて調べた結果を適切に記録している。 ○ヒトは、母体内で成長して生まれることを理解している。</p>	<p>○ヒトの母体内での成長のようすについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○ヒトの母体内での成長のようすについて、動物の発生や成長とその変化を関係づけて考察し、表現している。</p>	<p>○ヒトの母体内での成長のようすに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、自らその変化や成長を調べようとしている。 ○ヒトの誕生について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
-----------------------------	--	--	--	--

令和6年度 理科 評価規準（第6学年）

江戸川区立小松川第二小学校

単元名	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ものの燃え方</p>	<p>空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる活動を通して、燃焼の仕組みについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○線香やろうそくなどを目的に応じて用意し、安全に正しく使って、空気の動きを調べ、適切に記録している。 ○気体検知管や石灰水などを安全に正しく使って、ものが燃える前と後の空気の変化を調べ、結果を適切に記録している。 ○ろうそくや木などの植物体が燃えると、空気中の酸素が使われ二酸化炭素ができることを理解している。</p>	<p>○ものの燃え方と空気の動きについて、問題を見だし、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。 ○実験結果から、気体の種類によるものを燃やすはたらきの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現している。</p>	<p>○ものの燃え方に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、燃焼のしくみを調べようとしている。 ○ものの燃焼のしくみについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
<p>植物のつくりとはたらき ① 日光との関わり ② 水との関わり</p>	<p>植物の体のつくりと葉で養分をつくる働きに着目して、生命を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、植物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○植物には、根から取り入れた水の通り道があることを調べ、結果を適切に記録している。（行動観察・記録分析） ○根や茎、葉には水の通り道があり、根から吸い上げられた水はおもに葉から蒸散により排出されることを理解している。 ○気体検知管などを正しく使って、植物と空気の関係を調べている。 ○日光と葉のでんぷんについて、実験の目的に応じて材料を用意し、正しく扱いながら調べている。 ○植物の葉に日光が当たると、でんぷんが</p>	<p>○葉まで運ばれた水がその後どうなるかについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○日光と葉のでんぷんについて、実験の結果から考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。</p>	<p>○植物の体のつくりとはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○植物の体のつくりとはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

		できることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)		
人やほかの動物の体のつくりとはたらき	体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きに着目して、生命を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、人や他の動物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	<p>○口から取り入れられた食べ物は、消化管を通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排出されることを理解している。</p> <p>○気体検知管や石灰水を正しく扱い、吸気と呼気の違いを調べている。</p> <p>○ヒトや動物は、呼吸によって酸素を取り入れ、二酸化炭素などを出すことを理解している。</p> <p>○資料などを目的に応じて選択し、血液の流れや腎臓のつくりとはたらきを調べ、結果を適切に記録している。</p> <p>○血液は心臓のはたらきで体内を巡り、養分、酸素および二酸化炭素などを運んでいることを理解している。</p> <p>○体内には生命を維持するためのさまざまな臓器があることを理解している。</p>	<p>○だ液によるでんぷんの変化について考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。</p> <p>○血液の循環を、消化・吸収や呼吸のはたらきと関係づけて追究し、予想や仮説を発想して、自分の考えを表現している。</p>	<p>○ヒトや動物の体のつくりとはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。</p> <p>○ヒトや動物の体のつくりとはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
生物と地球環境	生物と水、空気及び食べ物との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、生物と持続可能な環境との関わりについて理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	<p>○ヒトは、植物や動物を食べ、動物の食べ物をたどっていくと植物に行きつくことを理解している。</p> <p>○顕微鏡を正しく使って、水中の小さな生物を観察し、結果を適切に記録している。</p> <p>○メダカなどの魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていることを理解している。</p> <p>○生物は、空気や水を通してかかわり合っ</p>	<p>○自然の中の生物も、食物連鎖でつながっていることについて、予想や仮説を発想し、表現している。</p> <p>○動物と植物が空気を通してかかわり合っていることについて、調べたことから考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。</p>	<p>○生物どうしのつながりに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。</p> <p>○生物どうしのつながりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
月と太陽	月と太陽の位置に着目して、これらの位置関係を多面的に調べる活動を通して、月の形の見え方と月と太陽の位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	<p>○月の形の見え方を調べるモデルの意味を理解して、ボールなどを目的に応じて用意し、正しく扱いながら調べ、適切に記録している。</p> <p>○月の形の見え方は、地球から見た太陽と月の位置関係によって変わることが理解している。</p>	<p>○月の形や月と太陽の位置関係について、問題を見だし、予想や仮説をもとに解決方法を発想し、表現している。</p> <p>○モデル実験や観察をもとに、月の形の見え方が変化する理由について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。</p>	<p>○月の形の見え方に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。</p> <p>○月の形の見え方の変化や月の表面のようすなどの学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

<p>水よう液の性質</p>	<p>水に溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる活動を通して、水溶液の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○水溶液や器具を目的に応じて用意し、安全に正しく使って、いろいろな水溶液の違いを調べている。 ○水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。 ○リトマス紙などを正しく使って水溶液の性質を調べ、結果を適切に記録している。 ○水溶液は、酸性・中性・アルカリ性の3つに仲間に分けられることを理解している。 ○水溶液や器具を安全に正しく使って、金属が変化するようすを調べている。 ○見えなくなった金属がどうなったのかを調べ、結果を適切に記録している。 ○蒸発皿に残ったものの性質を調べ、結果を適切に記録している。 ○水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。</p>	<p>○5種類の水溶液の区別のしかたについて予想や仮説をもち、自分の考えを表現している。 ○金属に薄い塩酸を加えたときのようなすから、金属に起こった変化について予想や仮説をもち、解決の方法を発想している。 ○蒸発皿に残ったものの性質を調べた結果から考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。</p>	<p>○身の回りの水溶液に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、水溶液の性質を調べようとしている。 ○水溶液の性質やはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
<p>土地のつくりと変化</p>	<p>土地やその中に含まれている物に着目して、土地のつくりやでき方を多面的に調べる活動を通して、土地のつくりや変化についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○地層のようすを調べる器具などを目的に応じて用意し、正しく扱いながら観察し、適切に記録している。 ○地層の構成物と、地層に重なりや広がりがあることを理解している。 ○堆積のモデルを運搬・堆積の場としてとらえ、地層のでき方を調べている。 ○双眼実体顕微鏡などの器具を正しく操作しながら、火山灰を観察し、その特徴を適切に記録している。 ○地層は、れき、砂、泥や火山灰などからできており、層となって広がっていることを理解し、長い年月をかけて変化していることをとらえている。 ○資料などを目的に応じて選択し、火山活動や地震による大地の変化について、多面的に調べている。 ○大地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。</p>	<p>○地層のようすや構成物について、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。 ○地層のでき方について問題を見いだし、解決の方法を発想し、表現している。 ○地層が固まってできた岩石や化石を調べ、長い時間の経過と合わせて考察している。 ○火山活動や地震に対する具体的な備えを知り、自然からの恩恵についても理解し、自然との向き合い方について、自分なりの考えをもっている。</p>	<p>○大地のつくりと変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○大地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

<p>てこのはたらき</p>	<p>加える力の位置や大きさに着目して、これらの条件とてこの働きとの関係を多面的に調べる活動を通して、てこの規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○力点・作用点の位置を変え、てこを使うときの手ごたえを調べ、結果を適切に記録している。 ○実験用てこを使って、左右のおもりの重さや位置を変えながら、てこの規則性を計画的に調べている。 ○てこがつり合うときの規則性や、支点から等距離でつり合うときはおもりの重さも等しいことを理解している。 ○てこを利用した道具を目的に応じて用意し、安全に正しく使いながら、支点・力点・作用点について調べている。 ○身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。</p>	<p>○てこを使って重いものを小さな力で持ち上げる方法について、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。 ○てこの手ごたえと支点・力点・作用点の位置関係について考察する中で、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 ○実験結果をもとに、てこの規則性について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 ○てこの規則性と道具のしくみやはたらきとの関係を多面的に調べ、考察し、自分の考えを表現している。</p>	<p>○てこのしくみやはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
<p>私たちの生活と電気</p>	<p>電気の量や働きに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、発電や蓄電、電気の変換についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○手回し発電機などを正しく扱いながら、発電のようすを調べ、適切に記録している。 ○光電池や鏡などを目的に応じて用意し、正しく扱いながら実験を行い、適切に記録している。 ○コンデンサーを正しく扱いながら、そのはたらきを調べ、結果を適切に記録している。 ○身の回りには、電気の性質やはたらきを利用した道具があることを理解している。</p>	<p>○発電について問題を見だし、乾電池と比較した予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。 ○光電池のはたらきについて考察する中で、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 ○実験結果をもとに、豆電球と発光ダイオードの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 ○電気をむだなく使うための工夫について問題を見だし、予想した条件や動作の組み合わせをもとに、解決の方法を発想し、プログラミングしている。</p>	<p>○発電と電気の利用に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○発電と電気の利用について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。)</p>
<p>かけがえのない地球環境</p>	<p>生物と水、空気及び食べ物との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、人の生活と持続可能な環境との関わりについて理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	<p>○ヒトは、環境とかかわり、工夫して生活していることを理解している。 ○資料などを目的に応じて選択し、ヒトの活動と環境が互いに与えている影響について調べている。</p>	<p>○身近な環境とのかかわりや与えている影響などの調べたことをもとに、より妥当な考えをつくりだし、自分たちの生活を見直そうとしている。</p>	<p>○身の回りの環境に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。</p>